

1

地球にオゾン層ができた！



約46億年前
微惑星の衝突合体の中から地球の原形が生まれる。

約40億年前
微惑星の衝突で地球の地表はマグマの海となる。

水蒸気大気が雲となり、いつ果てるともない嵐が地球を冷やしていく。

原始太陽系のガスの中で微惑星が衝突をくり返す。

約35億年前
海が生まれる。水の惑星の出現。強い紫外線が降り注ぐが、海中では光合成が始まり、生物誕生。

約25億年前から6億年前
海中では生物は満ちあふれ、光合成で作られた酸素が少しずつ大気にオゾンを作り出す。

オゾン層が地球をおおうようになると、生物は陸上へ世界を広げ始める。

オゾン層に守られ、生物は次々と種類や数を増やしていく。

私たちが住んでいる惑星「地球」は、今から約46億年前に誕生したといわれています。そのころは、水も空気もなく、もちろん生物もすんでいませんでした。それから、海がで
き、生命が誕生し、海の中の植物が光合成をして酸素を出し、その酸素が大気中の高いところ
でオゾンとなって、オゾン層が作られました。オゾン層ができると、今まで海の中に
いた生物が陸上に上がることができるようになりました。

このように長い時間をかけてさまざまな気候の変化や生命の進化を経て、今のようにな
くさんの動物や植物がすむ現在の地球の姿ができました。



現在

約700万年前
人類登場。

約6500万年前
恐竜が滅び、代わってほ
乳類が爆発的に増えていく。

約2億1000万年前
ほ乳類登場
約1億8000万年前
恐竜が地球を支配す
るようになる。